

ワークショップで住民の考えをとりまとめ (加西市)

活用資源	まちなみ、町家
取組主体	加西市

概要

- ・加西市北条町は、約 1300 年も続く住吉神社や酒見寺^{さかみじ}の門前町として栄え、旧街道筋を中心に市場町・在郷町として発展してきた、古いまちなみが残る地区です。現在は、少子高齢化や空き家の増加等が進み、まちに再び賑わいを取り戻すことが課題となっていました。
- ・かなり以前から幾つかのまちづくり団体が活動していましたが、みんなでまちの将来像や目標を共有しながら取り組むため、ビジョンを作成することになりました。
- ・そこで、専門家と連携し、まち歩きや文献調査に加え、住民の思いや考えを共有するワークショップ「町屋くらし再生塾」を開催しました。これらを踏まえ、まちの賑わい創出に向けて町家の再生・活用方策等を定めた「北条旧市街地ビジョン」としてまとめています。
- ・このビジョンに基づき、市が 4 軒の空き店舗のリノベーションを誘導し、地域の団体や若者たちが運営する施設に生まれ変わりました。町を家に見立て、訪れた人にゆったり楽しんでもらう体験型イベント「北条コンネ」を定期的で開催するなど、ここから新しいまちづくりが動き出しています。

ポイント

ココが
コツ！

- ・まちづくりでは、まちの特徴・魅力をしっかり認識し、他のまちの取組を参考とすることは大切です。北条地区では、新しい視点でまちづくりを考えようと、先進的な取組を行っている大学の先生、まちづくり団体、建築士などの専門家を交えてワークショップを行いました。
- ・ワークショップの話し合いでは、まちの活性化に向けた交流の場、皆が立ち寄れる飲食店、来訪者のための宿泊施設、若者の起業を応援する場など、様々な取組が提案されました。この取組が、その後の実験的イベントも経て、4 軒の空き店舗リノベーションに結びついています。

こんな
苦労が

- ・ワークショップの提案を実現していくためには、民間事業者など継続した取組を行う担い手が必要ですが、最初はなかなか担い手が見つかりませんでした。しかし、ワークショップを通じて、元地域おこし協力隊の方や地域のまちづくり団体の人的ネットワークが形成され、まちへの思いに賛同し、意欲的に事業を進める事業者に出会うことができました。



ワークショップの様子

この事例をもっと知りたい場合

加西市地域振興部きてみて住んで課



TEL 0790-42-8729

Mail kiteka@city.kasai.lg.jp

HP <http://www.city.kasai.hyogo.jp/>

SNS  まちなか春陽堂

 @hojo_conne